

### 第 73 回日本ダービーの表彰式で内閣総理大臣賞を贈呈 2006 年 5 月 28 日

日本ダービー(東京優駿)は、その年のサラブレッド3歳のチャンピオンを決めるレースで、毎年、この時期に府中市の東京競馬場で開催されます。

この日は、日本ダービーの表彰式で、馬主さんに内閣総理大臣賞を贈呈するため、東京競馬場を訪れました。

昨年は3冠馬ディーブインパクトが優勝したこのレース。今年は約11万人の競馬ファンが見守るなか、メイショウサムソンが優勝し2冠馬となりました。



JRAキャンペーンキャラクターの中居正広さんと理事長室で記念撮影。有名タレントさんにもかかわらず、愛想とファンサービス(?)の良さに感動しました。



メイショウサムソンの馬主の松本好雄さんと握手。青地にピンク袖の勝負服はダービージョッキーとなった石橋守騎手。松本さんも石橋騎手も初めてのダービー制覇とのこと、本当におめでとございました。



ダービーの表彰式は、コース内に敷かれた赤絨毯の上で行われました。スタンドは表彰式を見守る競馬ファン(13万人)で埋め尽くされていました。

### 韓国で開催された第37回世界農業者大会に出席 2006年5月17日

世界の食料安全保障や農業者の生活向上などに関し意見交換を行うことを目的とする国際農業生産者連盟(IFAP)という組織があり、現在、わが国を含む83の国・地域がこれに参加しています。国際農業生産者連盟は2年に1度総会を開催しており、第37回目の総会に当たる世界農業者大会が5月13日から19日にかけて、韓国ソウル市のシェラトンウォーカーヒルで開催されました。17日に行われた閣僚討論会に日本の代表として出席し、農業者が直面する急速なグローバル化問題の取組に向けたわが国の農業政策について講演を行いました。また、講演に先立ち、朴(パク)農林部長官とWTO農業交渉や大陸の黄砂問題などについて意見交換を行いました。



講演中の風景。大型モニターに表情が大きく映し出されました。



朴農林部長官(農業大臣)と、G10としての結束の強化、砂漠化地帯の緑化対策および黄砂対策などについて意見交換を行いました。



両国の更なる協力関係の発展を祈念して握手

## みどりの感謝祭で秋篠宮同妃両殿下をお迎え 2006年4月29日

「みどりの日」を記念するとともに、緑化運動の推進を目的として、4月29日に日比谷公園で第17回のみどりの感謝祭が開催されました。

好天に恵まれたこの日の感謝祭では、秋篠宮同妃両殿下をお迎えし、緑化活動に取り組むボランティア団体や学校の表彰などが行われ、最後に一般市民への花木苗のプレゼントが行われました。

感謝祭終了後、秋篠宮同妃両殿下が参加者一人一人にお声をかけられていましたが、紀子妃殿下は元気そうなお姿でした。



山火事予防ポスターで農林水産大臣賞を受賞した高校生に賞状を授与しました。



主催者代表として、秋篠宮同妃両殿下(右奥)河野衆議院議長、扇参議院議長が見守るなかで主催者として開会のあいさつをしました。



緑化推進活動の一環として、一般市民に花木の苗を配りました。タスキ掛けは、ちょっと早い選挙戦のようで身が引き締まりました。

## 全国農業協同組合中央会初の女性理事大蔵浜恵さんと対談 2006年4月26日

農林水産省男女共同参画推進本部長として、JA全国女性組織協議会会長であり昨年8月に全国農業協同組合中央会初の女性理事に就任された大蔵浜恵さんと、農山漁村の男女共同参画社会の実現について対談をしました。大蔵さんは滋賀県のJAで女性のリーダーとしてもご活躍されており、JAの活動や農業経営・地域活動などに関して貴重なお話をうかがうことができました。対談の内容は、農林水産省の公報誌「AFF」の6月号(6月中下旬に発刊予定)に掲載される予定です。



## 群馬県で活躍されている女性の皆さんを訪問(国府野菜本舗) 2006年4月20日

この日は、農村女性活動現地視察として、群馬県内の起業活動事例2件を訪問しました。1件目は、高崎市間町で地場野菜の直売、太巻き寿司や総菜などの製造・販売を手がける「国府野菜本舗」を見学させて頂きました。平成12年に国府加工研究会として地域特産の白菜を使ったキムチづくりに取り組んだ女性たちの活動は、地域住民の高い支持を受け、平成16年の農事組合法人「国府野菜本舗」の設立に発展したとのこと。群馬県、JAなどの助成金を受け整備された店舗は、有名デザイナーのアドバイスを受けたとあって、非常に明るく清潔感のある印象を受けました。



様々な野菜が並べられた地場野菜直売コーナー。竹の盆ざるが朝取り野菜の鮮度をより引き立てます。



地場野菜について国府野菜本舗のリーダー(代表理事)の真塩光枝さんから説明をいただきました



意見交換冒頭のお礼のあいさつ。向かって左が関東農政局長の伊藤健一さん、右が普及・女性課長の吉本明子さん

群馬県で活躍されている女性の皆さんを訪問（あぐりハウスおふくろ亭） 2006年4月20日

群馬県内の農村女性活動現地視察の2件目として、農家レストランであり、そば打ち体験もできる渋川市赤木町の「あぐりハウスおふくろ亭」を見学させて頂きました。旧赤城村が平成16年度に実施した地場産業の活性化方策に係る調査事業をきっかけに、有志11名が集まり赤城農村女性加工販売組合を設立し、今年3月のあぐりハウスおふくろ亭のオープンに発展したとのこと。旧赤城村からの助成金と組合員の出資金で建てられた木のぬくもりいっぱいのお店は、訪れたお客さんの心を和ませることと思います。もちろん、赤城ポークを使ったトンカツやウインナー、手打ちのおそば、こんにゃくのみそおでん、山菜の天ぷらなど、地元の農畜産物を使ったお料理も、とても美味しかったです。



テーブルに並べられた数々のお料理。このあとも、おそばや天ぷらなど「地産地消」のメニューをお出し頂き試食しました。



国産木材をふんだんに利用した建物に感動。まさに「木づかいレストラン」です。



この大きなのれんが目印です。近くに来られた方は是非お立ち寄り下さい。

中川大臣ご夫妻主催の在京外国公館関係者との懇談会に出席 2006年4月3日

千代田区にある農林水産省の分庁舎において、中川大臣ご夫妻が主催する懇談会が開催されました。91ヶ国162名の大使や参事官の皆さんが招かれ、鹿児島黒豚しゃぶしゃぶや北海道産米を使ったお寿司などが振る舞われました。私は、FTA・EPAのASEAN諸国担当副大臣として、妻とともに中川大臣ご夫妻を補佐し、招待客をお迎えました。



私の向かって左は、中川大臣の挨拶をじっと聞き入る中国の王毅大使



出席者を代表して、王毅大使が招待者を代表してご挨拶。中川大臣ご夫妻、宮腰副大臣ご夫妻と共に

## 農林水産副大臣として答弁風景その1 2006年3月8日~9日

3月は、次年度予算、予算関連法案、畜産物価格等について審議が行われる国会会期中でもっとも忙しい時期です。8日の予算委員会では、渡辺孝男委員の質問に対し、9日の農林水産委員会では、野村哲郎委員、小川勝也委員、福本潤一委員の質問に対し、それぞれ答弁をしました。政府側に質問する立場から質問を受ける立場になりましたが、WTOなどで多忙の中川大臣を補佐し、丁寧な答弁に努めていきたいと考えております。

〔予算委員会〕



学校給食から発生する食品廃棄物のリサイクルについて答弁

〔農林水産委員会〕



我が国畜産の中長期的な方向性について答弁

## 竹中平蔵総務大臣へ地方財政の窮状を説明！ 2006年2月14日

生まれ故郷山鹿市の中嶋憲正市長（右から2人目、高野誠二議長（右端）を同行し、竹中平蔵総務大臣室に訪ね、熊本県内初の「市を含む広域合併市山鹿市」でなお引き続く「地方財政の厳しさ」と平成17年度の特別地方交付税の十分な確保を要請しました。



## 古巣の全国農協青年組織協議会主催の大会に駆けつけ、組織活動実績発表を声援 2006年2月14日

日比谷公会堂において、毎年恒例のJA青年組織活動実績発表全国大会が開催され、全国5ブロックで厳しい地区予選を勝ち抜いた若手農業者が組織活動の発表を行いました。九州ブロックからは、JAかもと青年部果樹部会の上田秀治君が「ありがとうございます！果樹部会です！」という演題で発表を行いました。「話すトレーサビリティ」と銘打った消費者に顔の見える組織活動は、全国の生産者にとって参考になるものと感じました。



JAかもとの若手農業者と共に上田秀治君を応援



活動内容を紹介し、「話すトレーサビリティ」を熱弁する上田秀治君。結果は果樹部会青年部は全国優勝を果たして千石興太郎賞を受賞しました。